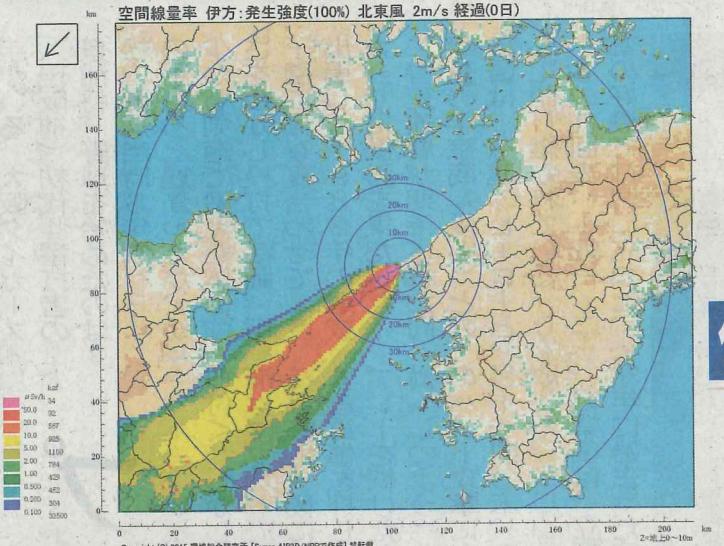
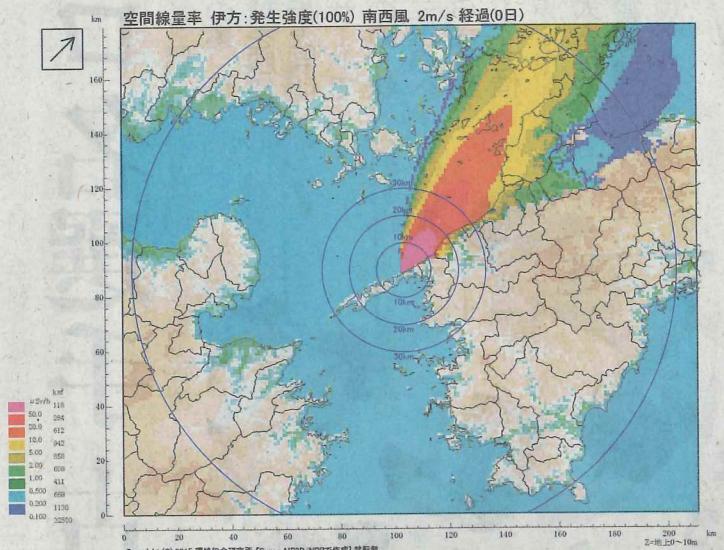


360度 汚染どこでも

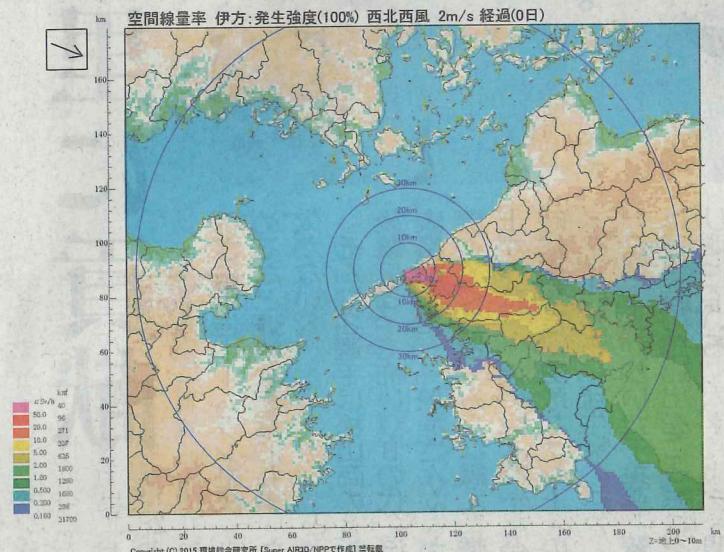
北東の風が吹いた場合、伊方原発以西の伊方町民が避難する大分県も大きな影響を受ける（環境総合研究所提供）



南西の風が吹いた場合、人口が集中する松山市や周辺が放射性物質に汚染される（環境総合研究所提供）



西北西の風が吹いた場合、南予から高知県にかけての幅広い地域に放射性物質が流れ込む（環境総合研究所提供）



いる。

（松本尚也）

放射能被害 民間予測

伊方原発 再稼働問題

拡散 風向き次第 県内にどまらず

伊方原発で東京電力福島第1原発事故と同規模の重大事故が起きた場合、県内には、どのような放射能汚染が広がるのだろうか。

（1面参照）

民間研究機関「環境総合研究所」（東京）のシミュレーションでは、風速2m/sの場合、事故直後の1時間あたり最大空間放射線量は、原発から50～30キロ圏では、原発から5～30キロ圏で緊急防護措置区域（UPZ）市役所8・5ヶ所（同）、松山市役所6・6ヶ所（南西）

研究機関「環境総合研究所」（東京）のシミュレーションでは、風速2m/sの場合、事故直後の1時間あたり最大空間放射線量は、原発から5～30キロ圏では、原発から5～30キロ圏で緊急防護措置区域（UPZ）市役所8・5ヶ所（同）、松山市役所6・6ヶ所（南西）

研究機関「環境総合研究所」（東京）のシミュレーションでは、風速2m/sの場合、事故直後の1時間あたり最大空間放射線量は、原発から5～30キロ圏では、原発から5～30キロ圏で緊急防護措置区域（UPZ）市役所8・5ヶ所（同）、松山市役所6・6ヶ所（南西）

相が開かれ、中谷元・維新、共産の5党の議員が首相らに対し質疑する。制特別委員会で、与野党全会派が参加して実質的なで6月調査から9・7月が急

「日本は日本の集団的自衛権行使容認などに対する批判を口にしていない。」

となり、広い範囲に及ぶ。放射性物質の拡散は県内だけにとどまらない。伊方原発と海を隔てた大分県では日杵市役所で12ヶ所（北東）、山口県でも上関町役場で11・0ヶ所（南南東）となる。

原発の周囲360度どこで放射能汚染の被害ができる。

東京都市大名誉教授は、伊方原発のある伊方町の風向データを年間を通じて分析した結果、「南北の風が多い特徴があり、防災を考え上で極めて重要」と指摘。風がどのように放射性物質の拡散に影響するか知つておく必要があるとする。

風向によって放射性物質の拡散状況は大きく異なり、例え伊方原発周辺の東西の移動が困難になる可能性がある」といった状況判断ができるためだと強調している。